

## 2008年度アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名 [ 金沢市立四十万小学校 ] 担当教諭 [ 坂上 則子 ]			
児童生徒の学年・クラス・参加人数:[ 6 年1 組38 名]			
実施期間: 2008 年 4 月 ~ 2009 年 3 月			
交流: 有 (国名[ 台湾 ] 学校名[ 日新小学校 ] 学年[5年 ] 担当教諭[ 王先生 ])			
実施教科・時数	教科	単元名	時数
・関連させたものをすべて ・総合学習では(英語活動 環境)など具体的に	国語	ガイドブックを作ろう	16
	社会・道徳	世界の中の日本・世界が一つの村だったら	8
	総合的な学習	世界のひとと手をつなごう	60

■作品について教えてください。

題(テーマ)	昔から伝わる話(民話・ふるさとの話)
絵に込めたメッセージ	金沢という名前の由来となった芋掘り藤五郎の話と学校の周辺に点在する竹林からのかぐや姫の話を描くことで、自分たちのふるさとを大切にしたいという思いを伝えられるようにした。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5月 6月	世界と自分たちのつながりを考える 青年海外協力隊の方の話を知る ユネスコの活動について知る	世界の子供達の様子を知ることによって交流への期待を持つ 世界の恵まれない子供達へ何か協力できることをしたいと考える	社会道徳
情報収集	7月 9月 10月	金沢について調べる 台湾について調べる	金沢探訪遠足を計画する 台湾への興味関心を高める 金沢のガイドブック作りを行う。わかりやすく伝える方法を考える	総合 国語
テーマ検討	10月	絵のテーマを考える テレビ会議を通して考えたテーマを伝える	日新小学校との自己紹介カードの交換やテレビ会議で盛り上がる。 ぬいぐるみの交換から「自然」を意識しぬいぐるみの名前(しじま やまたろう、しじまみどり)を考えたりテーマを考える。 身近にある自然を元に絵のテーマを決定 テレビ会議を行ったことで交流を身近に感じる	総合
制作	11月 12月	構図を考え下書きに入る 下書きを元に実際に描く 学習発表会で台湾の民話や台湾について紹介する	構図はすぐに考えられた。全員が参加できるようグループ分けをした。 民話を劇にすることになり脚本を作成・練習、台湾紹介のグループ作成、グループごとに交互に絵を描く	総合

	1月 2月	絵を送った後テレビ会議を2回行う お正月の行事について紹介 2月のスキー教室について紹介	絵の反応に関心あり。 お正月や他の行事の違いや同じ所に興味関心を持つ。 雪のない地方なのでスキーについて詳しく伝えた。	総合
鑑賞	3月	送られてきた絵の鑑賞	インフルエンザによる欠席が続き卒業間近にやっと全員がそろい絵を鑑賞。色使いの違いや建物の様子の違いに驚きを持って見ていた。 テレビ会議で話していたお守りやプレゼントを受け取り自分たちも最後に交流記念としてプレゼントをする計画を立て実践した。	総合

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に1～5まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）

（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関連がなかった）

順位	つきたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
1	コミュニケーション・スキル	⑤・4・3・2・1	テレビ会議を通して自分の考えを相手に伝わるようにいえるようになった。言葉だけでなく物などの媒体を積極的に利用することができた。
5	情報活用能力（収集・発信）	5・④・3・2・1	収集では大切なことに絞り込むことができるようになった。発信では相手の反応を確かめながら伝えることができるようになった。
	人間関係をつくる（交流相手・学級内）	5・④・3・2・1	一人一人の子が活躍の場を持つことができ、お互いを認めあえるようになった。
4	協同作業をする力（役割・段取り）	5・④・3・2・1	テレビ会議の役割・段取りを短期間に考え実行することができた。
3	異文化の理解	⑤・4・3・2・1	テレビ会議や送られてきた物、絵など、すべての物から文化の違いや同一性を見つけることができた。
	自文化の理解・自分を見つめる	5・4・③・2・1	金沢について知ることはできたと思うが、自分を見つめることに関してはあまり追究しなかった。
	表現力	5・④・3・2・1	考えを伝えることに関する表現力はついたと感じる。
2	学習を追究する意欲	⑤・4・3・2・1	交流ということを中心に与えられたので、常に意欲を高く持ちいろいろな活動を行うことができた。
	作品を鑑賞する力	5・4・③・2・1	時間が足りず十分とはいえない。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
<p>今回の交流は日新小の王先生が日本語ができたことで教師間のコミュニケーションがこまめにとれたことで活動をとてもスムーズに進めることができた。</p> <p>1年間の活動を通して、子供達は意欲的に様々なことに取り組むことができた。外国との交流にはじめは消極的だったり、不安がいっぱいだったりだった子供達も、テレビ会議を重ねたことで、テレビ会議を楽しみにするようになった。交流する楽しさがわかってきたところから絵の制作に入ることができたので、短期間で集中して行うことができた。</p> <p>コミュニケーション力を高めることを活動の重点と考えていたのだが、自分の考えが伝わる楽しさや反応が返ってくる喜びを体感することができたことで、次の活動への期待感も高まり、どの子も発言する際に工夫して考えを相手に伝えようとすることができた。途中から会話は英語で行おうということになったが、自分で辞書を引いたり、翻訳サイトで英文に直したり、英語担当の教師に聞きに行ったりと英語だから、と消極的になることなく活動する姿もみられた。テレビ会議や絵の制作を通してクラスの一体感が増したことがよかった。</p>	<p>テレビ会議の内容に関しては話し合うところまではいけず発表の交換に終始した。やはり小学生の子供達にとって言葉の壁は大きいと感じた。</p> <p>絵が戻ってから鑑賞する時間が短いことが残念だった。</p> <p>交流相手校といろいろな物を交換するとき郵送料がかかる。今回は育友会費から費用を出してもらったが3万程度かかった。費用捻出が難しいとも感じた。</p>

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

<p>今回で2回目の参加となったが、やはり子供達にとって忘れられない活動になり、参加してよかったと改めて感じることができた。活動の紹介を保護者にも行いたいと思ったので、定期的に活動に参加している学校紹介や活動の様子などがわかるものがあるといいと感じた。</p> <p>1年間本当にお世話になりました。</p>
--

